前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏 (法人にあっては名称) 住 (法人にあっては主たる事業所の所在地 〒 100-8251						生地)					
名 三菱化学株式会社				所	•		区丸の)内1-1-1 パ	レスヒ゛ル		
本票作成 部署名: 三菱化学株式会社 水島事業所 企画管理部											
主たる業種 ^{分類} コード 16 業種名: 化学工業											
事業の 概 要											
	番-	号	工場等の名称				所 在 地				
	(1	三菱化学株式会社水島事業所					倉敷市潮通3丁目10番地				
県内の	2	水	水島製造所(旧三菱樹脂(株))				倉敷市	7松江4-	-6 - 1		
主な											
工場等											
特定事業	- 11		然料等原油換算1,	500kll							
の該当要	:1午	(•]	Ľ場等の数		2 所	● I	車両台	数(②該	当の場	合)	台)
温室効果ガス 基準年度(平成 24 年度) (平成 27)年度排出量 目標年度(平成 29 年月					29 年度)						
排出量			1, 105, 786 t	CO ₂		1, 13	4, 901	t CO ₂		1, 105, 786	t CO ₂
		番号 工場		場等の名称			(平成 27)年度排出量				
		1	三菱化学株式会	社水園	島事業所					1, 118, 926	t CO ₂
ナヤエ相	<i>t</i> :t:	2	水島製造所(旧三菱樹脂(株))				15, 975 t CO ₂				
主な工場の排出量	-										t CO ₂
	L										t CO ₂
	L					_					t CO ₂
											t CO ₂
		計画其	期間: 平	成 2	25 年度	\sim	平	成 29	年度	(5	箇年度)
削減目標 達成状泡		V	総排出量基準	(2	27) 年度削	減実績	責	目標削減	率	目標道	達成
) L		原単位基準		△ 2.6	%		0.0	%	□達成	☑ 未達
(=)(()	. 2011	温室効	果ガスの排出量と領	密接な関	係をもつ値の内	容		原単	位当たり) 排出量	
(原単位基 の削減目標	:準	华					基準年度 (27)年度 目標年度				
選択してい 場合に記入	る										
							CO ₂ /() (002/() CO ₂ /)
(該当事業者のみ記入)						本中去於					
ベンチマーク対象事業の名称		ベンチマーク指標			いて	関連数値		27 年度)	達成率等		
指標の状況 石油化学系基礎製品製造業 11.9 GJ/t 以下 11.78 GJ/t 101.0%											
【削減状			評価】	17 (1)	マル マウは	in 🚖	仁 1 よ				

- ・平成27年度のCO2削減施策については、予定通り実行した。 しかし、事業所のプラント稼働率が基準年度比較で上昇した為、事業所としての消費エネルギー は増加し、結果、CO2排出量は増加する事となった。
- ・エチレンベンチマーク指標は、過去からのプラント停止による固定エネルギーの比率の増加 により非常に厳しい状況ではあるが、水島事業所の基幹プラントであるエチレンプラントの 運転効率向上によりベンチマーク指標の目標を達成する事が出来た。

【推進体制】

- ・推進体制:水島事業所組織に順ずる
- ・IS014001認定取得: 2000/03
- ・水島事業所RCレポート発行:2004年度~毎年

【目標削減率達成のために実施	した措置及び今後の取組】
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
三菱化学株式会社水島事業所	< 平成27年度に実施した措置> ・アルコール製造装置 運転条件最適化による蒸気削減 ・溶剤製造装置 蒸気ロス削減 <今後実施予定分>
	・芳香族製造装置 低温廃熱有効利用・芳香族製造装置 高効率冷水塔への集約化
水島製造所(旧三菱樹脂(株))	< 平成27年度に実施した措置> ・OPS製造装置 ブロワインバーター化による電力削減の展開 ・KTF製造装置 運転最適化による電力削減
	< 今後実施予定分> ・ 高効率空調機への更新 ・ 照明のLED化

п	森林保全等吸収源対策への取組	•
ı		1
	*** \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	

県内で の取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの道入】

	化一二	がら、砂等人
県内で の取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ■商品の普及により世の中の温室効果ガス削減に貢献できる製品として、
 - ・白色LED用窒化ガリウム基板の製造運転継続中
 - ・有機薄膜太陽電池のパイロット設備の稼働継続中
- ■その他情報
 - ・石油系タールピッチ由来のCO2 (温対法の算定対象活動・区分に該当しない) が、 332(千tC02)発生している。
- ■冷暖房設備の使用電力削減のために、クールビズ・ウォームビズ運動に積極的に取り組み中